

ことぶき ゆめ会議ニュース

Vol.27

2013年度 推進キャッチフレーズ/ことぶきスマイルネット 発行：ことぶきゆめ会議

ことぶき共同診療所・デイケアを見学してきました



ことぶき共同診療所・デイケア沿革

- 1996年4月1日 ことぶき共同診療所開所
- 1999年5月25日 ことぶき共同診療所デイケア開所
- 2000年6月 ことぶき共同鍼灸院開所
- 2002年3月1日 寿町関係資料室開所
- 2006年10月17日 ことぶき共同診療所、診療部分が1階へ引っ越し。

看護師の矢島さんより診療所とデイケアについてお話を頂きました。

診療所ではアルコール依存症の患者さんが多く、中区役所と連携して抗酒剤を飲んで頂く工夫をしているとのお話がありました。



寿地区地域福祉保健計画中間振り返りを行いました。

各担当委員より振り返りの報告を行って頂きました。金銭管理支援の問題を中心に次回のゆめ会議で続きを話し合うことになりました。



ゆめ会議からのインタビューVol. 2

特定非営利活動法人 横浜ダルクケアセンター 栗栖次郎さん



Q：ゆめ会議に出席した、感想を教えてください

A：寿ゆめ会議の皆さま、この度は私ども横浜ダルクをお仲間に加えていただきましてありがとうございます。寿ゆめ会議に参加させていただき、皆さまの想いや活動を知り、胸が熱くなりました。

寿の街を良くしたい！寿で暮らす人達を守りたい！という想いが伝わってきました。

私ども薬物依存者の回復にはたくさんの人々の手がかかっている事を、改めて理解しました。私どもがダルクの活動で学んだことを「ゆめ会議」で役立てたく思っております。

未熟な私ですが皆さま、ご指導を宜しくお願い致します。

Q：寿地区へのメッセージをお願いします

A：私が生まれ育った町は「あいりん地区」という、簡易宿所が集まる街でした。何でもありの町でした。みながそれぞれの背景を抱え街で暮らしています。

私ども横浜ダルクでは「依存症問題のサポートを通して、寿で暮らす人達や働く人達のお役に立ちたい！」と願っております。今現在、人生がこんがらがった人と共に歩く事はお任せ下さい！！

特例非営利活動法人 横浜DARC（ダルク）

DARC（ダルク）は薬物・アルコール依存症者の回復・支援に取り組む民間リハビリテーションセンターです。

1985年、東京都荒川区に近藤恒夫が開設し、2013年現在は北海道から沖縄まで58施設があります。また、2012年には韓国にもダルクが設立されました。ダルクではアジアの薬物問題に対しても積極的の活動を行っております。

特定非営利法人・横浜ダルク・ケアセンターは、2013年現在設立23年となり、横浜市南区宿町で薬物依存症・アルコール依存症からの回復支援を行っております。

横浜ダルクでは入所と通所の回復プログラムを用意し、「薬物・アルコールを使わない生き方」の回復支援に取り組んでおります。

★ 告知！

次回、第28回ことぶきゆめ会議は10月9日（水）10～13時（昼食あり）